

令和4年3月4日

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学環日本海域環境研究センター 「2021年度共同研究成果報告会」を開催

金沢大学環日本海域環境研究センターでは、平成28年度から文部科学省の共同利用・共同研究拠点に認定され、国内・国外の関連機関と連携して、環日本海域に関連する自然環境の解明を目指した応用的な共同研究を推進しています。

このたび、この共同研究の本年度成果報告会を2日間にわたって開催します。大気中のマイクロプラスチックや海洋生物に対する汚染の影響など多岐にわたる研究成果が紹介されるとともに、「東アジア域でのラドン及び壊変生成核種の大気輸送」と題した特別講演もあります。

さらに、本成果報告会と合わせて、本センター連携部門による第6回国際テーマシンポジウムを開催します。

つきましては、当日の取材・報道をよろしく申し上げます。

金沢大学環日本海域環境研究センター

2021年度共同研究成果報告会

日時： 令和4年3月10日(木) 13:00～17:55
3月11日(金) 9:10～12:10

場所： オンライン Zoom

※詳細は別添チラシをご参照ください。(担当：長谷部徳子)

【同時開催】第6回環日本海域環境研究センター連携部門 国際テーマシンポジウム

「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」

日時： 令和4年3月11日(金) 14:00～16:55

場所： 金沢大学ナノ生命科学研究所 大会議室 (オンライン併用)

※詳細は別添チラシをご参照ください。(担当：塚脇真二)

※現地取材は要事前申し込み。(事務室 076-234-6961)

<本件照会先>

金沢大学環日本海域環境研究センター教授	長谷部 徳子	Tel: 076-264-6529
金沢大学環日本海域環境研究センター教授	塚脇 真二	Tel: 076-264-5990
金沢大学理工系事務部総務課総務係	米田 一宣	Tel: 076-234-6826

金沢大学環日本海域環境研究センター 2021年度共同研究成果報告会

日時：2022年3月10日(木) 第1部 13:00-17:55

2022年3月11日(金) 第2部 9:10-12:10

開催方法：オンライン (Zoom)

参加申込ページ <https://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/symposium/kyoudou2021/>
※参加希望の方は、上記アドレスまたは右のQRコードからお申込みください。(3月8日締切)



特別講演 (3月10日 13:10~14:10)

「東アジア域でのラドン及び壊変生成核種の大気輸送」

名古屋大学大学院工学研究科 総合エネルギー工学専攻 教授

山澤 弘実

全球²²²Rnフラックス分布の推定、東アジア域大気²²²Rn中濃度等の観測、大気輸送モデルの開発・検証を概観し、日本周辺での²²²Rn壊変生成核種沈着量分布の評価及び東アジア域での大気輸送について議論する。

プログラム

3/10
(木)

13:00 - 13:10 開会の挨拶
13:10 - 14:10 特別講演
14:25 - 17:25 一般共同研究課題 (11件)
17:25 - 17:55 若手研究者育成共同研究課題 (2件)

3/11
(金)

09:10 - 10:10 重点共同研究課題 (3件)
10:20 - 11:55 一般共同研究課題 (6件)
11:55 - 12:00 共同研究取りまとめ
12:00 - 12:10 閉会の挨拶



第6回金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門
国際テーマシンポジウム

東アジアの農村社会・都市社会 をめぐる環境とその発展



金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門は、環日本海域を中心としながらも、東アジア全域における環境情報の交換・収集・維持管理を進め、国際研究ネットワークの構築とその維持・発展を支援し、広く国内外へ情報を発信することを目的として設置されました。また、環日本海域という地政学的に重要な地域における文理融合型の学際的研究/地域研究の振興をはかることも目標としています。今回の国際テーマシンポジウムでは、これまでのテーマである「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」をふまつつも、環日本海域でのさまざまな環境問題に対する視点をこれまでとは大きく変更し、外来研究員の方々による地域研究の成果報告会として開催します。中国からも話題を提供いただく予定です。

<プログラム>

- 堂満華子：完新世の琵琶湖水温の定量的復元法の開発
荒木祐二：石川県内の森林と河畔にみられる二次的植生
作本達也：小松の蛋白石(オパール)鉱山の歴史とその地質学的背景
張 文明：中国中部における「BO門事」のタブーと公墓地事件
—河南省济源W村に関する調査—
木村 誠：小松市における障がい当事者や自治体と連携したアクセシビリティ研究と教育実践への取り組み
池田誠司：朝鮮王朝から現代韓国社会に至る漢字使用の変遷と言語主体の実践上の問題について
金岡克文：戦前沖縄の銀行と庶民金融



日 時：2022年3月11日(金)、午後1時半開場(予約不要)
場 所：金沢大学ナノ生命科学研究所4階大会議室
問合せ：金沢大学環日本海域環境研究センター事務室
電子メール：kannihon-jimu@ml.kanazawa-u.ac.jp
電話：076-234-6961